

東神楽町の取組事例について

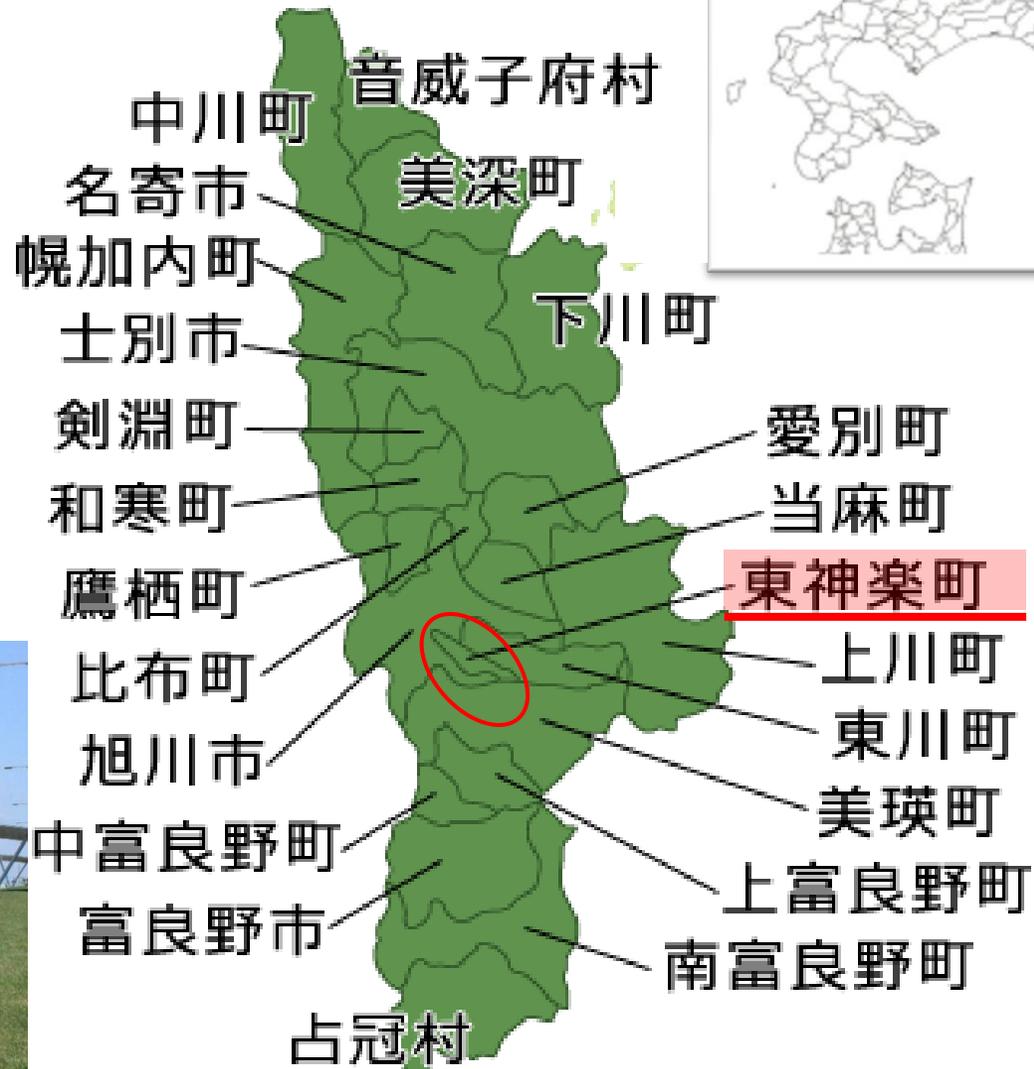
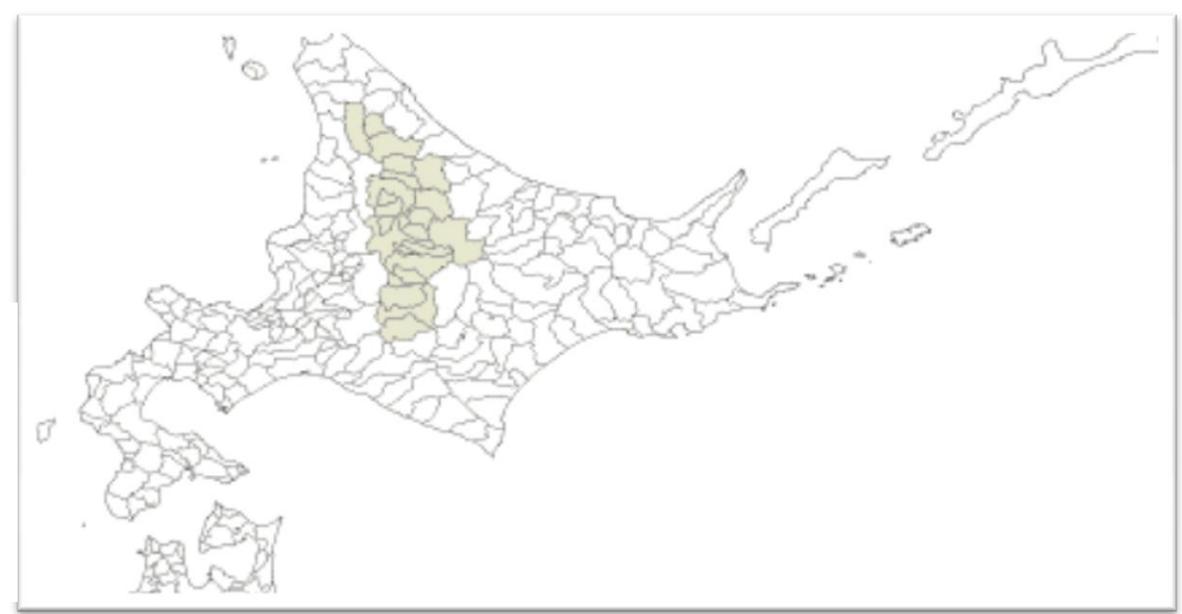
東神楽町 建設水道課

目次

1. 東神楽町の概要
2. 東神楽町花のまち景観計画
3. 良好な景観形成に向けたルール(届出制度)

1. 東神楽町の概要

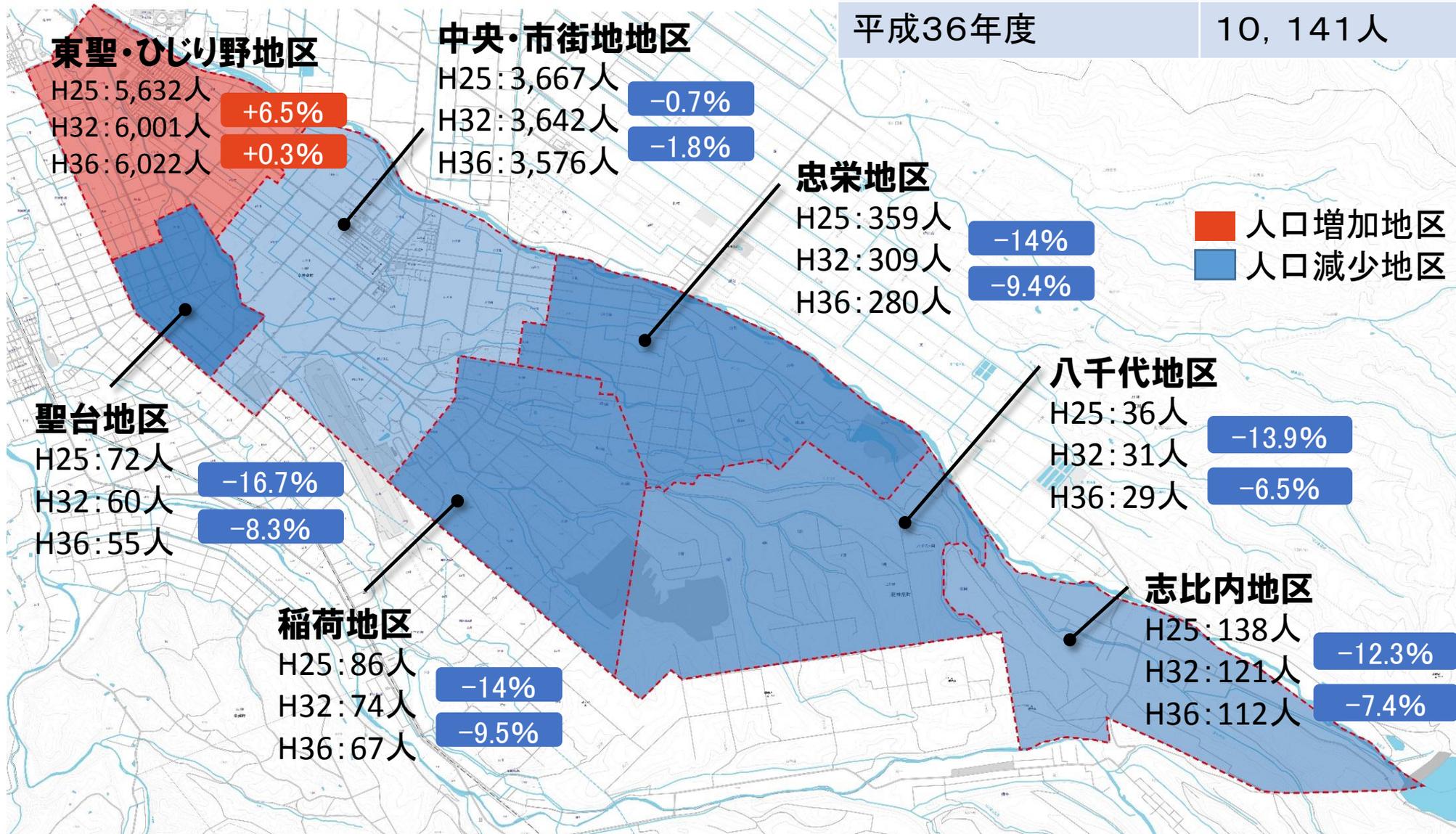
(1) 位置



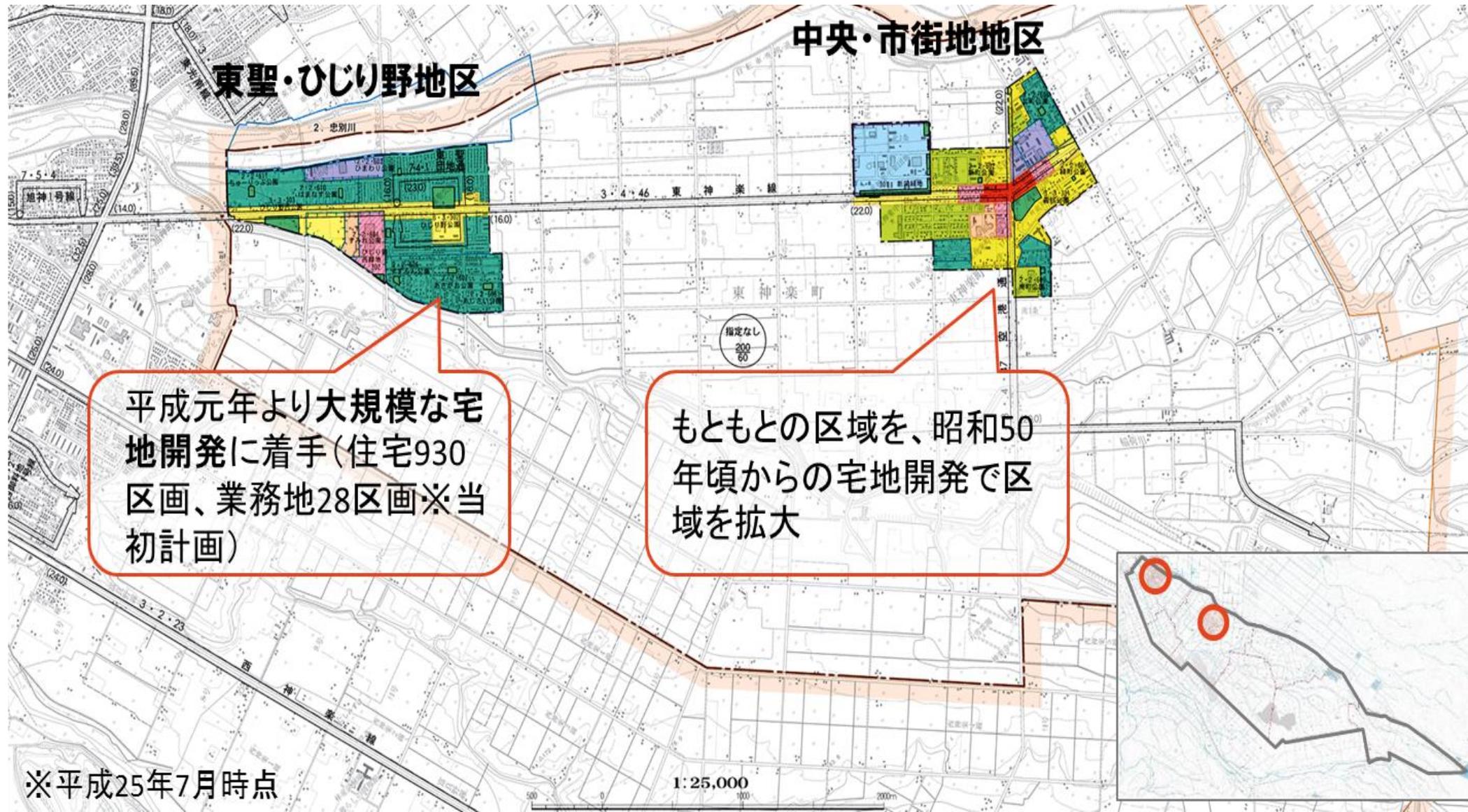
(2) 人口の推移

東神楽町全体の人口推移

平成25年度	10,299人
平成32年度	10,238人
平成36年度	10,141人



(3) ふたつの市街地



2. 東神楽町花のまち景観計画

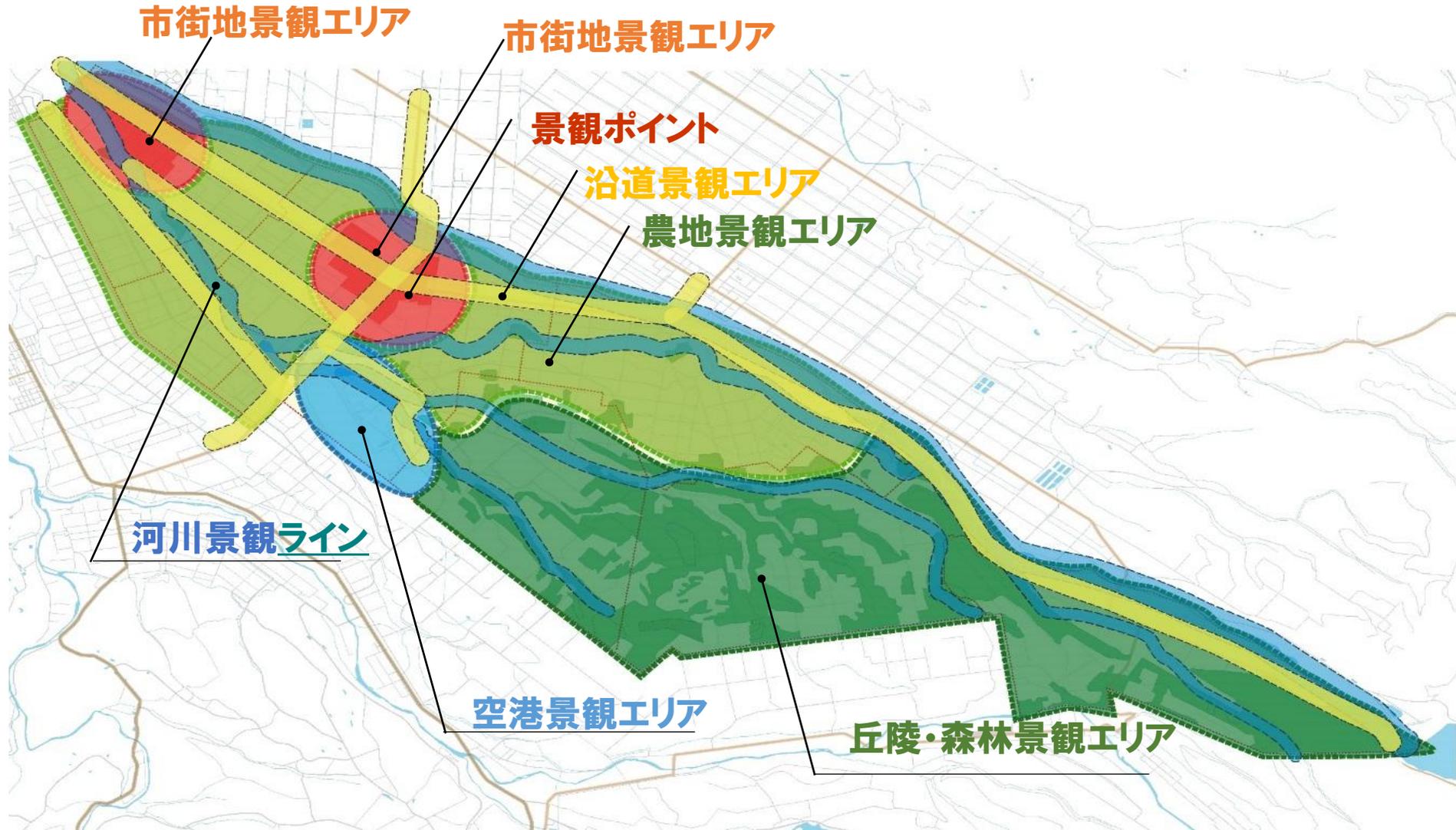
(1) 基本理念

大雪山の自然の恵みが息づく 花のまち
～雄大な山並みを望む空の玄関口 水・みどり・花で育む田園景観づくり～

(2) 基本姿勢



(3) 景観ごとの方針(景域)



3. 良好な景観形成に向けたルール

(1) 景観形成基準の方針

●景観形成基準の方針

- ・大雪山への眺め、視点場からの眺望を阻害しない。
- ・自然景観や農業景観を損なわないように配慮する。
- ・東神楽町の田園風景と調和したデザインとする。

<建築物>

<工作物>

<開発行為>

位置
配置

規模

形態
意匠

(2) 景観まちづくりの進め方

①意識づくり

②情報発信

③継続性のある仕組み・体制づくり

④人材育成(花育)



(3)届出の対象となる行為

種別	届出の対象となる行為	行為の規模・内容
建築物	新築・移転	・高さ10mを超えるもの又は延べ面積100㎡を超えるもの
	増築・改築	・増築・改築後の高さが10m又は延べ面積100㎡を超えるもの。(ただし、増築又は改築に係る部分の床面積が10㎡以下のものは除く)
	外観を変更する場合	・高さが10m又は延べ面積100㎡を超える建築物の外観の変更で、一壁面の変更面積がその面の50%を超えるもの
工作物	柵・塀・擁壁・その他これらに類する工作物	・高さ3mを超えるもの
	上記以外の工作物	・高さ10m又は築造面積100㎡を超えるもの ・建築物と一体となって設置される場合は、地盤面から当該工作物までの高さが10mを越えるもの
	外観を変更する場合	・上記の規模に該当する工作物の外観の変更で、一壁面の変更面積がその面の50%を超えるもの
開発行為	都市計画法第4条第12項に規定する開発行為	・当該行為に係る土地の面積が1,000㎡を超えるもの
その他	土地の形質の変更(都市計画法に規定する開発行為を除く)	・当該行為に係る土地の面積が1,000㎡を超えるもの
	屋外における土石、廃棄物、再生資源その他の物件の堆積(雪農業用に供する有機物(堆肥)、 <u>土地改良事業等における敷地内の土石の堆積を除く</u>)	・堆積物の高さ3mかつ面積が1,000㎡を超え、堆積期間が30日以上のもの

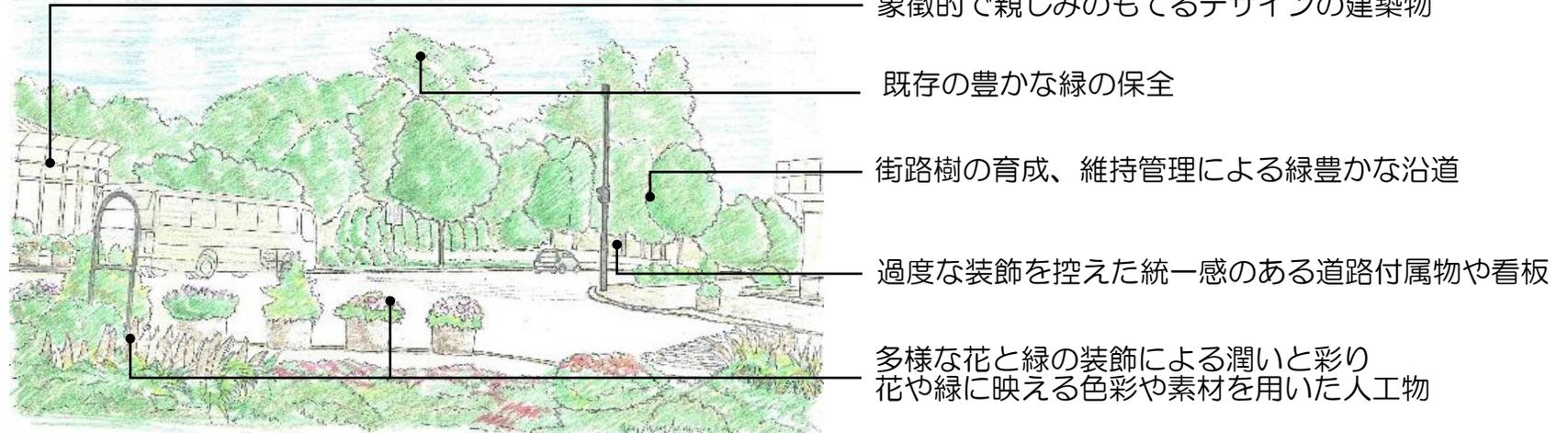
景観法において届出を不要としている行為

- ・ 通常の管理行為、軽易な行為
- ・ 地下に設ける建築物や工作物の建設等
- ・ 仮設の工作物の建設等
- ・ 非常災害時のため必要な応急措置として行う行為
- ・ その他法令等の規定に基づき行われる行為
- ・ 屋外広告物条例の規定に適合する屋外広告物の表示又は掲出物件の設置

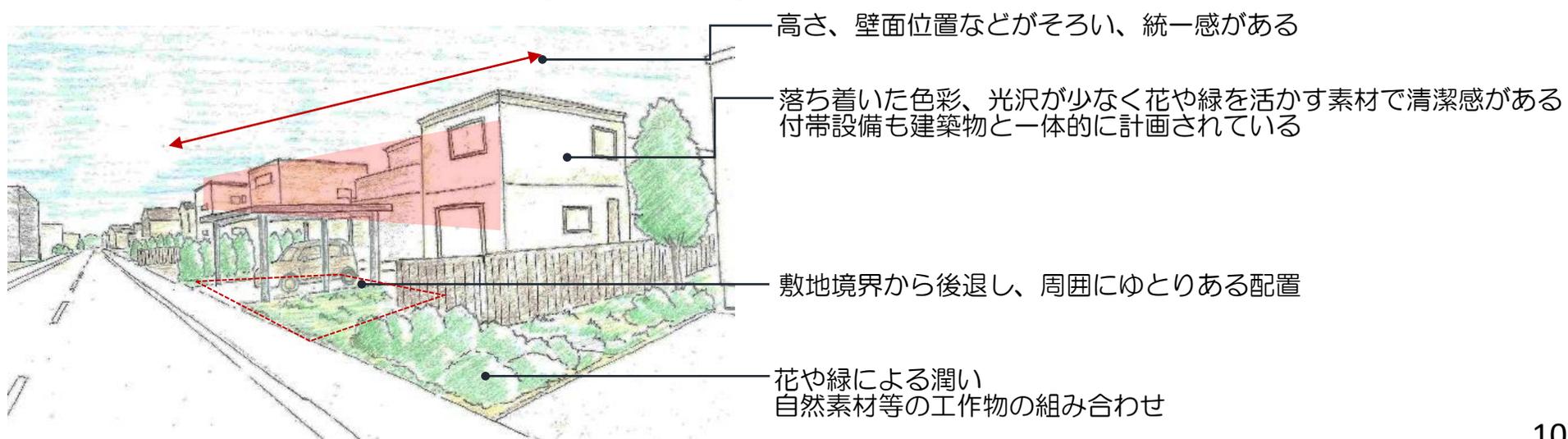
(4) 区域別の景観形成基準

①市街地景観区域【目標とする景観シーン】

●まちな顔となる景観



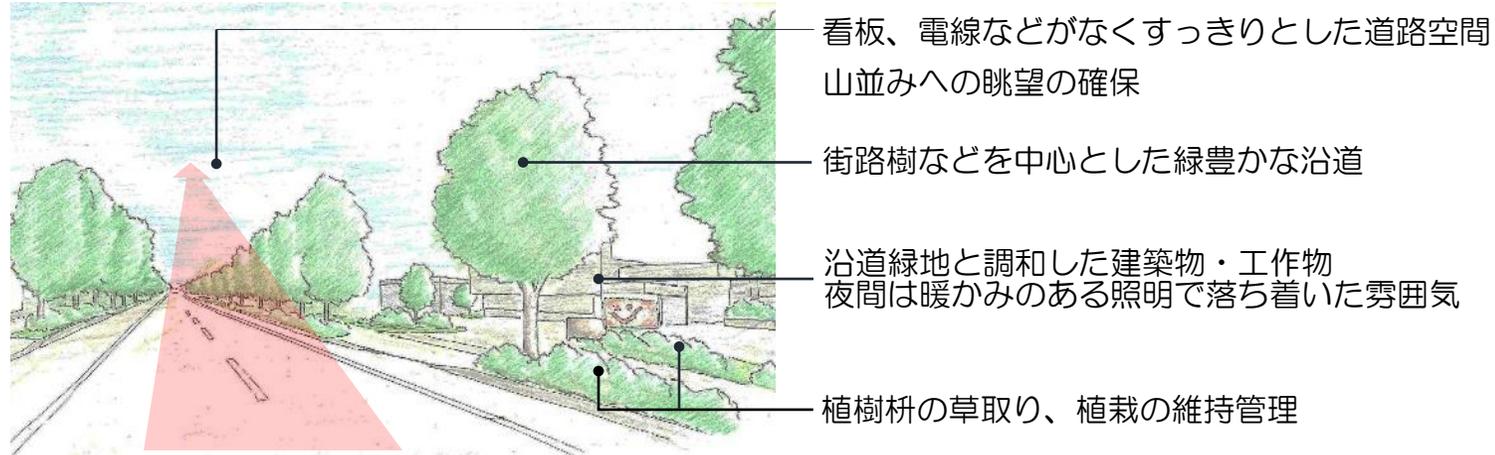
●みどりの潤いと花の彩り、建築物等が調和した清潔感と落ち着きのある住宅地の町並み



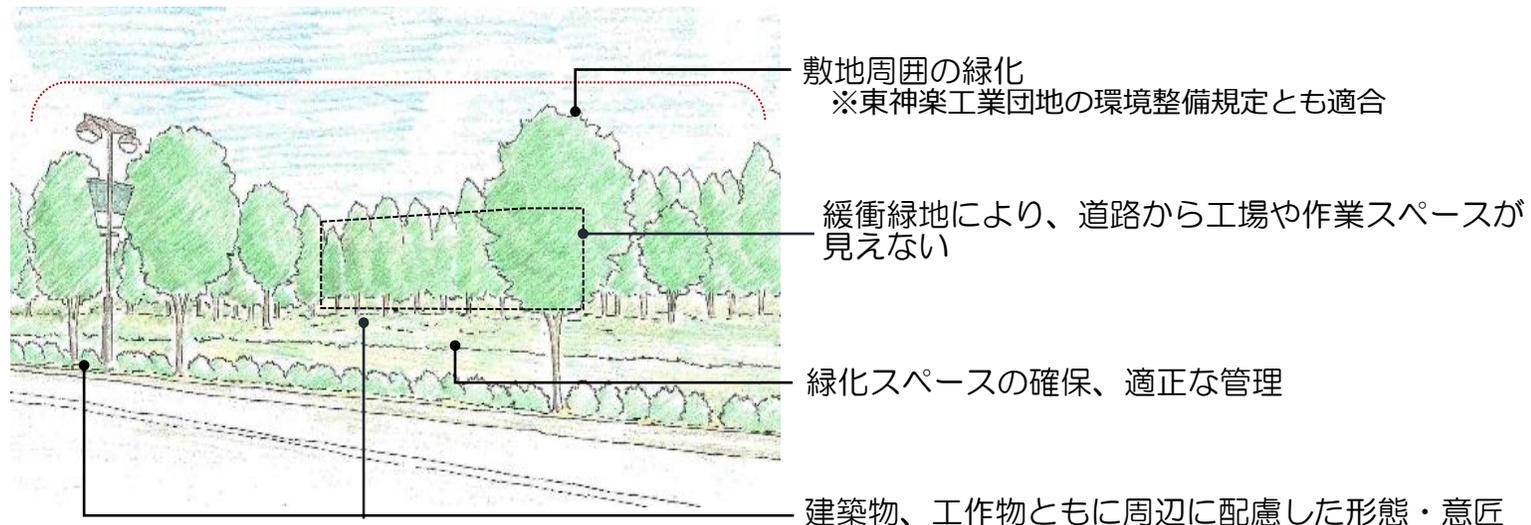
(4) 区域別の景観形成基準

① 市街地景観区域 【目標とする景観シーン】

- 山並みへの眺望が確保され、道路空間と沿道施設が調和する緑豊かな沿道（幹線など）



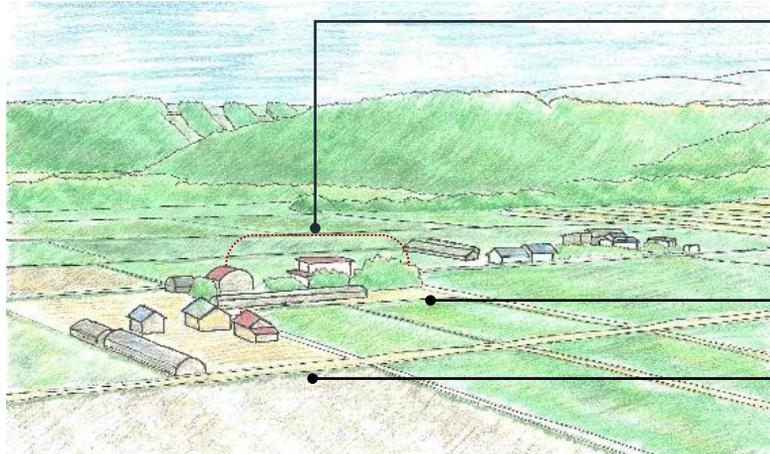
- 樹木を中心に地域の緑地帯を形成している工業団地、大規模施設の景観



(4) 区域別の景観形成基準

② 農地・丘陵・森林景観区域 【目標とする景観シーン】

● 水田や畑地の緑、山並みや広い空など周辺の景観と調和した印象深い農地景観



ゆとりある配置

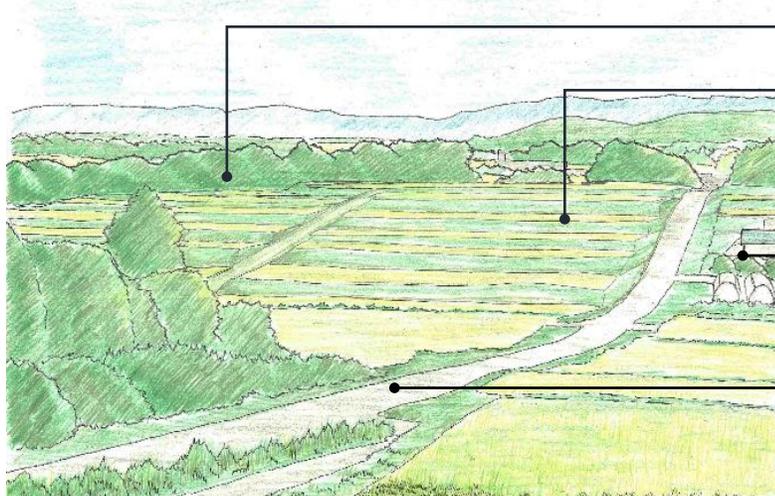
眺望や周囲の景観をさえぎらない高さ

光沢の軽減、素材の色
落ち着いた色彩（※秩序あるアクセントカラー）

敷地前や間口前への花や緑による緑化

整頓された農業資材・器具

● 水田や畑地、起伏に富む地形、森林の緑がのびやかにつながる丘陵地景観



丘陵地や河畔林の保全

水田（棚田）、畑地の保全

敷地周囲に植栽し、周辺の田園や自然景観と調和した建築物

眺望の確保
（山並みの稜線や、周囲に広がる農地、丘陵地、森林への眺望）

(4) 区域別の景観形成基準

②農地・丘陵・森林景観区域 【目標とする景観シーン】

- 日々の暮らしに潤いややすらぎ、もたらず河川・河畔林を含めた水辺の景観



適切に維持管理された河畔林の緑

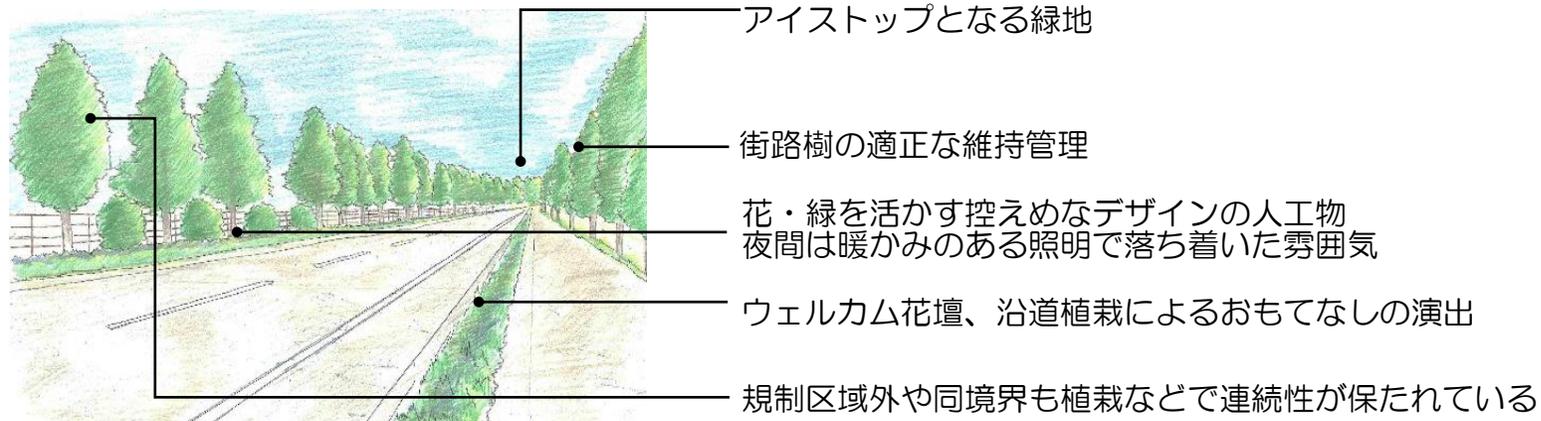
山並みなどへの眺望の確保された水辺の親水、レクリエーション空間

水辺空間に面する民地まわりの緑化

(4) 区域別の景観形成基準

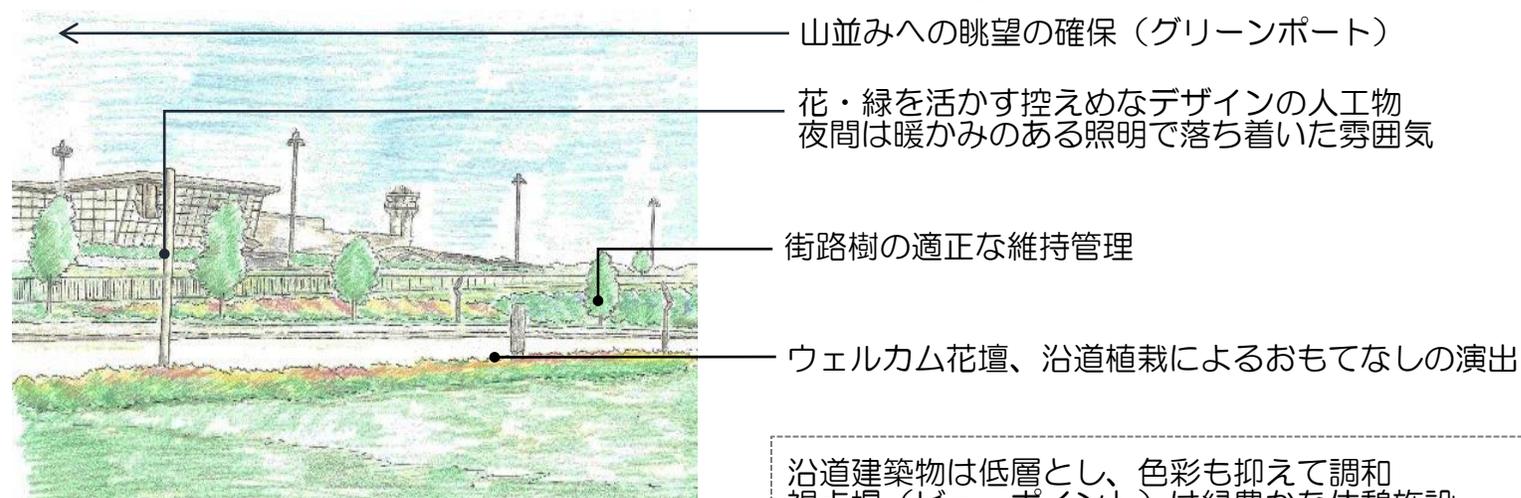
③ 空港沿道景観区域【目標とする景観シーン】

● 屋外広告物の規制による秩序と、花壇や植栽による彩りが市街地まで連続する沿線景観



※北海道屋外広告物条例による規制地域

● 質の高い花壇や植栽、周辺の田園と調和した街路樹など観光客をもてなしする空港周辺

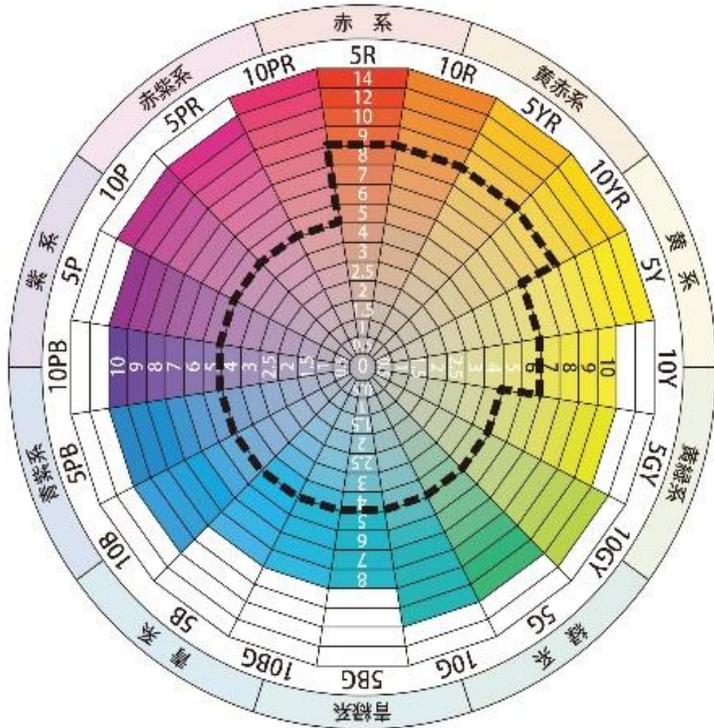


沿道建築物は低層とし、色彩も抑えて調和
視点場（ビューポイント）は緑豊かな休憩施設

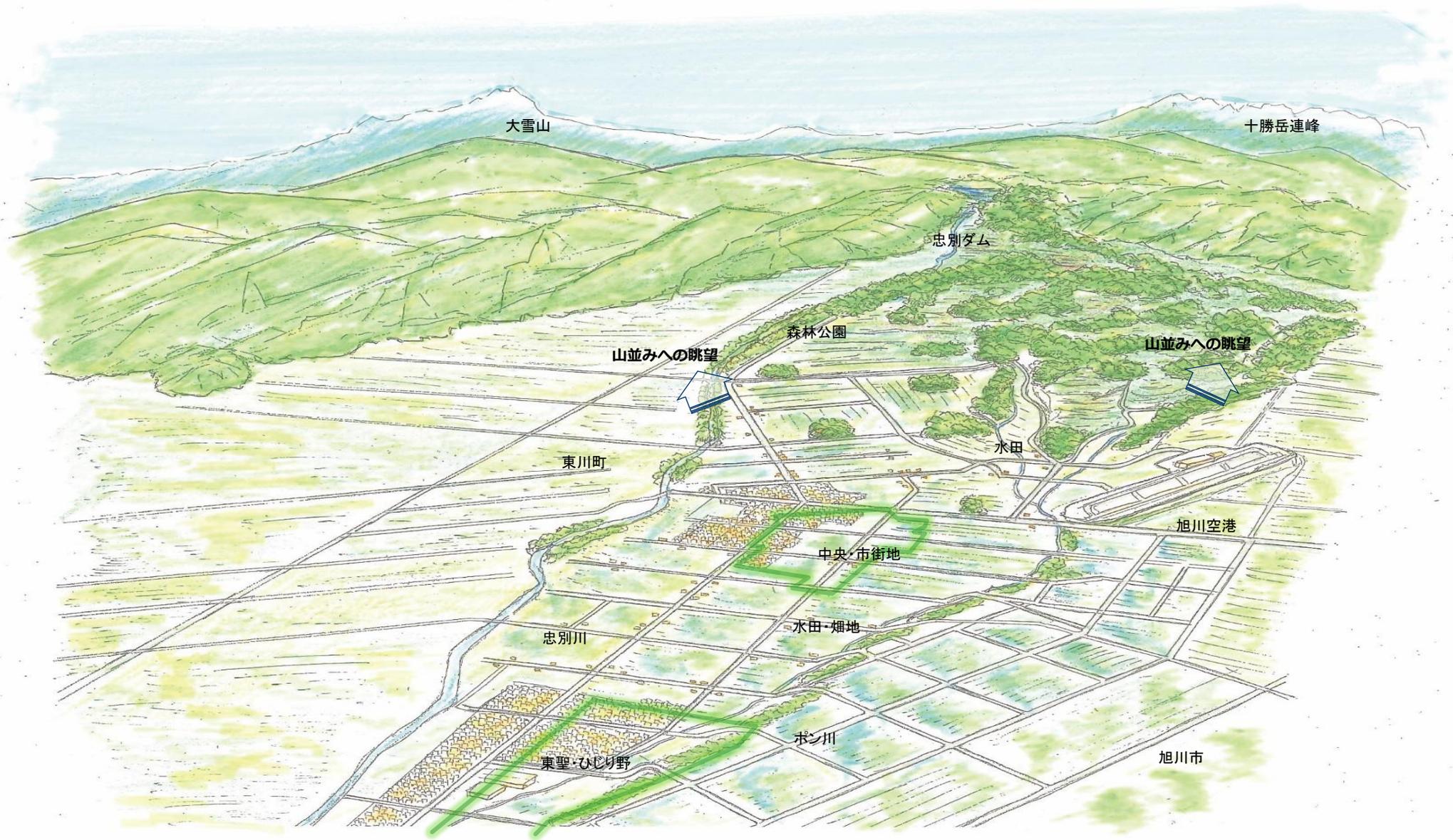
※北海道屋外広告物条例による規制地域

(5) 色彩の基準

東神楽町には多彩な景観要素があることから、多様な色合いを認めつつ、周辺の景観との調和を図り、景観の基調となる部分は過度に鮮やかな色彩にならないような基準としています。



色相	彩度	明度
R(赤) 、YR(黄赤)	8以下	0~10
Y(黄)系	6以下	
上記以外その他	4以下	



ご清聴ありがとうございました。